

宅配支部ニュース

ユーコープ労働組合 2016. 02. 05 発行

電話 045-319-4891 FAX 045-319-4893

2015年度 第7回宅配労使協議会報告

第7回宅配労使協議会が、1月30日（土）ユーコープ本部ビル会議室にて開催されました。理事会からは、櫻井運営部長・山下運営企画課長・耳塚労政課長、労働組合からは正規職員7名・パート職員10名が参加しました。

1. 経営報告（1月度・累計）

	実績	予算比・差	前年比・差
1月度 商品供給高	104.27 億円	98.94%	104.58%
1月度 経常剰余高	6.98 億円	+0.90 億円	+1.00 億円
累計 商品供給高	936.39 億円	100.60%	101.15%
累計 経常剰余高	37.86 億円	+4.66 億円	+5.93 億円

<理事会>

商品供給高は、連結実績 104.27 億円（予算比 98.94%）で未達成。利用人数が、予算比 100.34%と達成したが、週配単価が、予算比 98.99%となったのが要因。経常剰余は、連結実績 6.98 億円（予算差+0.90 億円）。総合荒利益率は、31.61%で予算・前年ともに達成。組合員拡大が、5ヵ月ぶりにメンテ実績（予算差+740名）で達成。WinterStageとしては、9週終了時点で予算差▲573名で、進捗に対して遅れが出ている。

1/18の降雪により、1/18は最大180分、1/19は最大150分、1/20以降でも最大240分の配送遅れが発生した。配送を断念した組合員へは、生鮮品を全額返金（180万円）対応した。また、降雪の影響による労働災害も3件発生した。

2. 安全運転（1月度・累計）

<理事会>

1月度の事故件数は3件。（前年差+2件、目標差+1件）で目標・前年ともに未達成。バック事故が2件。道交法違反も1件発生。発生した事故の1件は、トラックの台車格納庫からの台車落下。道交法違反は携帯電話保持違反。

<労組>

新しい供給パートを採用した際、安全運転トレーナーに講習をしてもらい、非常に助かった。引き続きお願いしたい。同乗者がいる状態での事故があるが、誘導する方へのマニュアルがあると良いのではないかと。

<理事会>

ご意見として承る。現状は、OJT のチェックシートはある。テクニック的な部分は、Mgr や安全運転トレーナーに聞いてほしい。

3. 有休取得状況（1 月度・累計）

取得率	かながわ	しずおか	やまなし	3 エリア計
正規（3/21～）	54.7%	59.9%	59.4%	57.2%
パート（6/21～）	57.0%	54.8%	47.4%	39.4%

事業所別取得状況詳細はユーコープ労組ウェブサイトをご覧ください

<理事会>

1 月度の取得実績は全体で 57.2%（前年差+0.3%）。年間計画 63.6%に対しての見通しは 2 月度、3 月度を計画通り取得をすすめることで達成できる見通し。

<労組>

511 センターで一部職位の方について極端に取得が遅れている。要因はつかんでいるか？

<理事会>

つかんでいる。計画的に取得を進めていく。

<労組>

期中採用の労組説明会でも、有給休暇の取得については話をした。取得できるということ自体が魅力で、採用競争力にもつながる。引き続きとりくみをお願いしたい。

<理事会>

有給休暇の取得は、片山本部長の方針でもある。引き続き計画的に取得を進めていく。

4. 昼休憩取得進捗報告（12 月度）

30 分以下比率	かながわ	しずおか	やまなし	3 エリア計
職員	12.8%	15.4%	11.8%	14.1%
パート	20.2%	7.8%	16.0%	14.2%

<理事会>

10 月度・11 月度に 10 センターでコースリフレッシュを実施した結果、休憩 30 分以下のコース割合は 22.6%から 15.4%になり、7.2%改善した。かながわパートの未取得の割合が高い要因は、配送が遅れても当初の休憩終了時刻を守り早く出発することで取得時間が短縮されているためだ。

今後は「残業申請書の運用強化」「計画通りの休憩取得」「荷降ろしの標準化」「定刻に出発できるオペレーションの構築」「携帯電話の押下作業精度」「供給パート職員の休憩実績提供」を活用していく。

<労組>

昼休憩が取れない要因を聞き取るという方法は、好事例の水平展開として、よいことだと思う。残業申請書の活用が、聞き取りという目的を忘れ、形だけを追求するものにならないようにしてほしい。

<理事会>

目的を周知徹底する。

<労組>

荷降ろしの標準化として提示されている方法は、作業表が降ろす順に並んでいないので右に行ったり左に行ったりで合理的でない。

<理事会>

意見はいろいろあると思う。しかし、今回の標準化案は、荷降ろし作業の早い職員の多数意見だ。作業表についても来年度は大きく変更する予定だ。

5. 年末年始の営業結果

<理事会>

ご協力いただいたみなさんのおかげで、無事に12/31の配送を終了することができた。一部センターでは、積込みや配送の体制不足が見込まれたが、本部や他事業所からの応援職員を配置したことにより、大きなトラブルは発生しなかった。また、把握している範囲では、パート職員が他部門の作業に入るような問題も発生しなかった。

6. 受付パートのこと

<労組>

受付パートが退職しても、採用を掛けてくれないという声もあがっている。新人が入職してもおうちコープシステムは難しく教えてあげる時間もとれない。

<理事会>

2016年度の方針として、受付パートを減らす方針は持っていない。サービスセンター稼働後は増やす方向でなかったことは事実だが、必要な人員配置はする。最終的な判断はセンター長。拡大や共済のアポ取りの電話掛けは宅配センターから行い、後方の電話掛けとは切り分けて考えている。配食サービスについても見直しを掛けて、受付の負担軽減を図る方向で考えている。

新人教育についてはオペマネもいない中で難しいと思う。検討課題にしたい。

7. 横浜北部センターと横浜瀬谷センターの移転に伴う過重労働発生についての総括

<労組>

当該宅配センターの分会やアンケートで出された意見を紹介する。

- (1) 配送が遅れた要因の一つに、担当者間のスキルの差による部分もあったのでは？
- (2) 配送担当者の人員が不足していたのではないかと？
- (3) Mgrの労務負荷が大きかった。もっと作業を振り分けることも必要では？
- (4) 残業が当たり前という風潮があったのが問題だ。
- (5) 不払い労働については、理事会の総括文書に書かれていないが、発生していた。「しない」「させない」ことの徹底が大切。
- (6) 有給取得についても言及がないが、横浜北部センターでは、大幅に取得が遅れた。

<理事会>

- (1) 委託スタッフ直雇用正規職員のスキルの違いという問題は確かにあった。
- (2) コースづくりに無理があったことを考えると、確かに配置した人員が不足していた。

(3) 今後センター移転があった場合のM g r の労務負荷については、運営部のサポート体制も含め、対応していく。

(4) (5) (6) 労働組合のご指摘の通りだ。

<労組>

横浜瀬谷センターの状況を見ても、配送コース組みについては、改善の傾向が見られる。この点は労働組合としても評価する。ただし、M g r 職については、両センターとも過重労働が発生した。今後、別の所でセンター移転が発生した場合、M g r に過重労働が発生しないという確証は持てない。理事会総括にある運営部のサポート支援を十分に発揮していただきたい。

8. 積み込み時に気が付く物流上の問題点

<労組>

積み込み作業をやっていくつか気が付くことがある。

- (1) 冷蔵の蓄冷剤が卵にあたって割れる。
- (2) 青果のふたなしは品質劣化につながる。
- (3) 一番上に積まなければいけないドライの箱が重たくて持ちあがらないことがある。
- (4) 逆に、少しだけしか入っていない箱も見受ける。

<理事会>

これまでも協議会の場でお答えしてきたが、もう一度説明させていただく。

- (1) 卵の割れそのものは問題だが、フタがあった時は見えなかったただけだ。積み込んだ際、上の箱の底がフタ代わりになっているので、フタの機能がまったくないということではない。
- (2) そういった懸念を持たれることは理解できる。しかし、冷やし込みで温度上昇が抑えられていることは実験場もはっきりしている。また、他生協で10年以上も先行実施していて、問題は発生していない、というのが事実だ。
- (3) 8k g以上のものは「重い」の表示をしている。荷降ろしの順番があるので、積み込時にその順番を変えるわけにはいかない。重量物は2人で作業していただくしかない。
- (4) 少ししか入っていないということも、コースの切れ目では生じうる。

宅配型別労働安全衛生委員会

引き続き、型別労働安全衛生委員会を開催しました。1/18の雪の影響で、転倒による労働災害が3件発生したという報告がありました。労働組合側から、「雪の影響を受けやすい宅配センターでは、滑りにくい靴を支給してほしい」という発言がからありました。理事会からは、「運転のしやすさも問題になるので、降雪地域の生協がどんな靴を使用しているのかも含め調べてみる」という発言がありました。

【次回日程】

日付：2月27日（土）

時間：13:00~14:45

会場：しずおか県本部会議室